

令和3年度 第1回石岡市総合教育会議 議事録

1 開催日時 令和3年10月18日(月) 午前10時

2 開催場所 八郷総合支所4階 401会議室

3 開会・閉会 午前10時開会・午前11時50分閉会

4 出席者

石岡市長		谷島 洋司
石岡市教育委員会 教育長		児島 裕治
教育長職務代理者		井坂 まち子
委員		渡邊 信人
委員		柏木 陽子
委員		真家 隆史

5 出席した職員

石岡市教育委員会 教育部長		豊崎 康弘
教育次長		吉澤 房江
参事学校再編担当兼学校教育担当		朝賀 隆行
参事兼生涯学習課長		宮部 善仁
教育総務課長兼学校再編担当		小沼 努
教育総務課副参事学校再編推進室長		小河原 修
教育総務課指導室長兼学校再編担当		須加野 征博
文化振興課長		原田 和宣
中央公民館長		吉田 昌司
スポーツ振興課長		小沼 欽也
学校給食課長		小川 崇晴

6 会議次第

1 開会

2 市長あいさつ

3 議題

(1) 石岡市教育大綱及び推進計画の策定について

(2) その他

4 閉会

7 議事録（議事の趣旨）

1 開会（教育部長）

2 市長あいさつ（谷島市長）

3 議題

（1）石岡市教育大綱及び推進計画の策定について

（教育総務課長）

【石岡市教育大綱（案）、教育推進計画（案）、及び今後のスケジュール（案）説明】

（文化振興課長）【補足説明】

（学校給食課長）【補足説明】

（参事兼生涯学習課長）【補足説明】

（教育総務課副参事）【補足説明】

（渡邊委員）

文言については良く考えられ良くできていると思うが、この大綱及び計画を基にして私たちの生活に、具体的にどのような影響があるのかが一番興味がある部分である。

そういった観点から、

- ①「次代の担い手」を育成し地元に残り働いてもらうためには、セーフティネットとして、学習の機会、学び直しの機会を考える等、地域が学校をサポートすることも必要である。
- ②道徳を学ぶ中で、公共支援を学ぶ場として学校、或いは社会生活の中で行われるので、そういう点にも留意してもらいたい。
- ③ふるさと学習において、過去から現在、未来というように考える機会とすることで次代の担い手が育成できるのではないか。
- ④学校給食の地元産食材活用について現在 JA やさとからの納入があると説明があったが、個人農園の方と契約、調達も検討してほしい。
- ⑤キャリア教育において地元の仕事だけでなく様々な職業体験や見学を行い、子供達がキャリアを考える上での参考にできるようにしてほしい。
- ⑥外国人居住者と接する機会を創ることで、子供達は異文化体験も経験でき、外国人居住者を孤立させないことにも繋がるのではないか。
- ⑦インクルーシブ教育の研究をしてもらいたい。

(指導室長)

- ・ICTの効果的な活用としてデジタルドリル教材を導入した。この教材では学び直しができ、個別最適な学びを可能としている。
- ・ふるさと学習においては、一部の学校で石岡市への提言を行う等の機会を設けている。このような取組を各学校でも行えるようにしていきたい。
- ・キャリア教育については様々な職業の体験ができる都内の施設を使う等、工夫をしており、今後も各学校において周知をしていきたい。
- ・障害のある児童生徒もそれぞれが自己の目標に向かって取り組めるよう、児童生徒の相互理解を深めるための交流の充実を進める等、インクルーシブ教育の充実に取り組んでいく。

(学校給食課長)

給食には相当量の食材の確保が必要になり、有機野菜に限ると相当量を作っている個人農家が少ないのが現状で、現在JAとの調整を進めているが、個人農家についても随時あたっていきたい。

(市長)

生きる力、生き抜く力をつけるためには幼い頃からの体験が必要であると考えている、就学前教育について、石岡市として取り組むことができないか。例：図書館の読み聞かせ。

(渡邊委員)

市長の考えに同感。就学前のサポートが必要であると思う。

(参事生涯学習課長)

就学前については家庭教育学級等を行っているが、体験型については、図書館において、生後数か月の子に読み聞かせを行うブックスタート事業を本に親しんでいただけるよう実施しているが、その他の事業についても、今後、検討していきたい。

(井坂委員)

- ・記載や用語解説のページに誤りが見られたので再度確認をしてほしい。
- ・ふるさと学習において小中同様のテキストではなく、中学では課題解決に主眼を置くなど、段階的に深い内容にすべきではないか。
- ・情報モラル教育について学校だけでなく専門家等講師派遣を行うことを検討してほしい。
- ・八郷総合支所2階への移設を進めている「郷の本棚やさと図書館」について石岡の歴史自然、地場産業、特産品に関わる書簡を配置する旨、新聞報道があった。学習等に活かせるものであり、期待している。
- ・近年キャンプが見直されている。龍神の森キャンプ場の利用啓発・PRを行ってほしい。
- ・学芸員の実施する公民館講座が好評である。また、企画展等で実施する説明は時間が合わ

ないことがあるので広報誌等で知らせてほしい。

(教育総務課長)

記載等について、指摘事項だけでなく全体的に再確認を行う。

(指導室長)

- ・各校におけるふるさと学習の取り組みを共有していきたい。
- ・情報モラル教育について教職員が早期に対応でき、また、未然防止というような体制を目指したい。

(参事生涯学習課長)

- ・図書館の蔵書については生活の中で興味を持ち、調べものを行う等、身近に感じられるような図書館を目指していきたい。
- ・キャンプについては社会教育施設という一面と観光の一面があり、今後の運営方針については協議していきたい。

(文化振興課長)

学芸員の知識を市民に還元するために機会を増やしたいと考えているが、一方、学芸員として、また、行政としての業務の両立が課題と考えている。

(市長)

- ・龍神山のエリアについては、龍神の森キャンプ場、風土記の丘（有料ゾーン含む）、染谷野球場、ハイキングコース等、所管部局が異なる施設が集中しており、その機能・位置づけをどのように使うか整理していきたいと考えている。
- ・郷の本棚やささと図書館には農村資料館が併設される。八郷総合支所には郷の風、響きホールもあり、その機能を学びに繋げる等、生涯学習としての位置づけを行いたい。
- ・勤労青少年ホームの活用について考えていきたい。
- ・石岡市では魅力の発信が足りないと感じている。石岡の魅力を広報やSNSを利用して発信できるようにしたい。

(渡邊委員)

- ・生涯学習において、高齢者を市の人材として活用するようなボランティアの入口をたくさん作り、また、ワークショップ等で創造的な活動機会を増やすことで、共働に繋がるとともに高齢者の生きがいにもなるのではないか。例：市民劇団等
- ・高校生会への参加が少ないと聞いている。参加を促すための仕組みづくりが必要ではないか。例：ボランティア証明書

(市長)

- ・先ほど話題に挙がった就学前教育については、教育委員会だけでなく、こども福祉課や高齢福祉課、インクルーシブ教育については社会福祉課も関わる。連携、関連付けを整理したい。
- ・合併10周年時に市民劇団が劇を行った。近隣自治体等も参考に市民参加型の、文化振興についても考えていきたい。

(柏木委員)

- ・色付けや用語解説の位置等とてもわかり易く、良いと思う。
- ・情報モラル教育については、いじめ防止等との関連もあり、とても大事な分野であるため丁寧に進めてほしい。
- ・郷の本棚やさど図書館のオープンをとても楽しみにしている。オープン前に見学ができないか。
- ・旧市民会館が現在そのままである。今後どのようにするのか伺いたい。

(参事兼生涯学習課長)

- ・郷の本棚やさど図書館は4月オープン予定となっている。プレオープン等を検討しているので、ぜひ、ご覧になっていただく機会を設けたい。
- ・複合文化施設は計画段階であり市長直轄組織で担当しておりプロジェクトチームが創設されている。令和7年のオープンを目指し、今後、サウンディング調査等を行っていく。

(市長)

複合文化施設については駅周辺に建設していく。イベント広場と駅東が案として残っており検討を進めている。建設を予定している令和7年は石岡市が合併して20周年であり、今後運営体制等を検討していく。

閉館した旧市民会館については、耐震が確保できていないため解体が必要となる。石岡小学校、旧市民会館は常陸国衙の遺跡エリアであり文化財を活用する方向に進めたい。

(真家委員)

- ・各小、中学校図書館への図書司書の配置はすでに行っているのか。
- ・学校給食について地場産食材の活用が見えるようにすべき。
- ・学校運営協議会について、地域と密着して活動できる場であるので、お話しを伺いたい。
- ・公民館について。石岡市区、八郷地区の運営が異なると聞く。状況を伺いたい。

(教育総務課長)

各小・中学校図書館への図書司書の配置については、学校規模により複数校を担当していただき、小学校11名、中学校で3名の配置が行われている。

(中央公民館長)

公民館については不公平ではないかとの提言をいただくことがあるが、石岡地区4館、八郷地区8館について、常駐職員の有無の別はあるが、多数の講座を行い利用も多く変わりはないと考えており、今後も理解が得られるように努力していく。

(学校給食課長)

地場産食材活用について。カロリー数ではなく品目数で目標を設定している。

令和2年度実績としては市内及び県内合せて7割程度の活用を行っている。

しかしながら石岡地区及び八郷地区の差があるので将来的に八郷地区の7割程度を目標に地場産食材の活用を進めていきたい。

(参事生涯学習課長)

学校運営協議会について。コミュニティスクールとして検討している。現在は情報収集と組織の構築を進めている段階である。

(渡邊委員)

障がい者スポーツの推進には、フライングディスク・水泳等の記載があるが、パラリンピックで行われたような競技を考えているのか。

(スポーツ振興課長)

障がい者スポーツについて。石岡市では車いすバスケットボールに施設が対応できていない等の課題がある。ニュースポーツと合せ簡易にできるスポーツについて推進を検討する。

(市長)

・国全体としてパラリンピック、茨城国体での開催はされなかったが障がい者スポーツ大会があり、歴史的遺産、レガシーをしっかりと石岡市にも作っていきたい。

・石岡市は霞ヶ浦、筑波山等があり、水上スポーツやトレイルラン、スカイスports等が行われていたり、茨城国体ではたくさんのデモンストレーション競技が実施された。このスポーツを活用し生きがい、健康長寿、また、交流人口の増加に活かしていきたい。

・コミュニティスクールについて、近い地域と学校が育てあっていくことを考え進めていきたい。

(教育長)

コミュニティスクールについては推進していきたい。

現在、学校統合再編が進められており、そういったことを機会ととらえ、地域の中にある学校から、地域と共にある学校、にシフトチェンジしていきたい。

本年は担当の職員を1人配置し先進地視察を行う。今後、調査研究を進めていきながら、石岡市として独自のコミュニティスクールの形を検討して進めていきたい。

(市長)

- ・ふるさと学習の中で、筑波山地域ジオパークについて、計画に取り入れてほしい。
- ・SDGsにあるカーボンニュートラル、脱炭素化の社会について、学校教育、或いは施設に反映してほしい。
- ・検討という言葉が散見された。検討ではなくて異なる言葉（計画する等）で記載すべき。
- ・総合教育会議は市長から教育委員会への申し入れとなる。今後、定期的に定例教育委員会の前後に開催していきたい。また、事務方として市長部局を加えたい。

(教育部長)

たくさんのご意見をいただき感謝する。

お示ししたスケジュールに沿って、いただいた意見等を織り込みながら、次期石岡市教育大綱及び推進計画を提案していきたい。

4 閉会